

vol.
796

Compass

 <http://nikkenkyo.jp/>

 info@nikkenkyo.jp

1

January
2013

雪の中を走るSL 雨宮 21号(北海道 丸瀬布)

日建協

2013年 年頭所感

新たな飛躍の年をめざして

2013年 **委員長の**「新年にあたって」

2012年度 会社訪問 **経営者はこう考えています**

ちょっとひといき… 2012年秋 撮り鉄報告

SL「てっざんまい」してきました

民間建築工事の

『4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定』の実現に向けて
建築(民間)工事の「適正な工期で受発注できる
ルールづくり」にむけた提言活動

BWI アジア・太平洋地域セミナー会議 2012 in デリー

オフィスでできるトレーニング ①

続・東西組合細見 19 — 野村労働組合

クロスワードタイム 他

新たな飛躍の年をめざして



日本建設産業職員労働組合協議会 議長 山田 栄治

加盟組合の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、活動を進めるにあたり、多くの声をいただき、誠にありがとうございました。皆さんからいただいた声は私たちの活動の原動力です。本年も昨年同様に、日建協活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2013年の活動をスタートするにあたり、私は日建協のこれまでの活動をあらためて振り返ってみました。建設産業を取り巻く環境の厳しさは今も昔も変わりませんが、先輩方が進めてきた活動からは、その時代の労働環境を良くしたい、という思いが伝わってきます。この思いの積み重ねが、今日の日建協活動の礎となっていると感じ、そのひとつひとつの思いの重さを再度実感しました。

私たちも歴代の先輩方の思いを受け継ぎながら、「働きがい・産業としての魅力・労働条件の向上」、そして「私たちのワーク・ライフ・バランスの実現」をめざし活動を進めます。

主な活動としては、建設産業における構造的な問題の解決を図る政策提言活動を、現場の最前線で働く組合員の声を原動力に進めます。こ

の活動では、国土交通省をはじめとする関係団体への提言を中心に、産業全体の課題解決にむけ取り組めます。また、私たちのワーク・ライフ・バランスの実現をめざし、統一土曜閉所運動の産業内への更なる浸透や、時短アイデア大賞などの入賞作品の活用を促す働きかけを行います。

今年は、より一層の時短推進を図ることを目的に「中期時短方針2013」の改訂を加盟組合とともに進めます。また、次世代の建設産業を担う若年層の交流を図ることを目的に「加盟組合間交流会」を開催します。このような新たな取り組みを取り入れながら、最前線で働く組合員の労働環境の改善に取り組み、一步一步前へ進んでまいります。

2013年を迎えるにあたり、日建協加盟組合員の代表者の皆さまの力強く前向きなメッセージを頂きました。新たな飛躍の年をめざして、37の加盟組合とともに日建協活動を盛り上げてまいります。

夢は大きく、こころはひとつに、魅力ある建設産業をともに築いていきましょう。



委員長の「新年にあたって」



日建協加盟組合の委員長より、新年に向けた意気込みを聞きました。今年も一年、頑張ってくださいませ！！



青木あすなろ建設職員組合
本部執行委員長 河添 栄作

建設業 冬の時代。ハードルは活力の源泉。みんなで手をとり合い笑顔でゴール\(^▽^)/



浅沼組職員組合
本部執行委員長 金田 康宏

人の気持ち、人との繋がりを大切にすること。その思いが強いほど力になる。それを基に社内活性化を目指します。



安藤建設職員組合
中央執行委員長 田中 一也

早期融和を目指して社員の横のつながりを深め活動を支える基盤である組織力を強化する。



奥村組職員組合
執行委員長 濱崎 憲一

「心を豊かに、懐も豊かに」をキーワードに頑張ります。



鴻池組労働組合
中央執行委員長 山口 充

自ら変革を！そして、それらの力を結集し、この閉塞感を打破していくぞ！2013年が飛躍の年となるために！！



五洋建設労働組合
中央執行委員長 村田 浩隆

働きがいをより実感できる環境を目指し、さらに一步前へ踏み出していきます。



佐藤工業職員組合
執行委員長 片岡 大到

Step by step 状況は厳しいが、とにかく前を向いて進もう。



佐藤秀労働組合
執行委員長 猪越 大介

頑張ろう!! 労働組合!!を合い言葉に、組合への積極的参加を促します。



シミズユニオン
執行委員長 荒井 正

残り半年も『自分でできることは、自分から進んで改善していこう。』を実践します。



鈴与三和グループ労働組合
執行委員長 小山 大介

厳しい時代が続きますが『人事を尽くして天命を待つ』の心境で今年も頑張ります！



銭高組労働組合
本部執行委員長 西本 健

労働条件の向上は意識の向上。今年も訴え続けます。On your mark! Get set! Go!!



大鉄工業労働組合
執行委員長 西口 典之

造るプロである我々が、「明るい未来」を創る原動力となる活気ある活動を目指そう！



大日本土木労働組合
本部執行委員長 清水利晃

“健全であるために”組合員の心身の安定を第一に考え、組合活動の活性化に努めます。



大豊建設労働組合
中央執行委員長 稲葉吉治

厳しい時代こそ前を向いて、出来ることから一歩ずつ。次世代へと繋がる活動を目指します！



大和小田急建設労働組合
執行委員長 小林公親

就労環境の向上実現に向け、私たちが活躍する舞台の整備に取り組んでいきます。



鉄建設建設職員組合
執行委員長 土屋恒治

自ら変革し、みんなで変えていく。「成せばなる、成さねば成らぬ何事も」熱い思いでがんばります。



野村労働組合
執行委員長 坂田智生

本年も、明るい建設業界を夢見ながら組合活動ががんばりましょう。



間組職員労働組合
中央執行委員長 一柳哲也

一体感を創出し、活力とゆとりに満ちた誇りある未来への大きな一歩。



ピーエス三菱労働組合
執行委員長 元木博史

社内コミュニケーションの活性化を図っていきます。明るく風通しの良い社内をめざす。



藤木工務店労働組合
委員長 高橋和宏

“挑戦”をキーワードに、組合活動を通して社内に新しい風を吹き込むぞ！



東鉄工業労働組合
委員長 後藤保雄

今年も「和気あいあい」をキーワードに「顔の見える組合」を目指し活動してゆきます！



東洋建設職員労働組合
執行委員長 中村信

今年の思いは「千里の道も一歩から」。ありたき未来を勝ち取るために一歩ずつ前進します！



戸田建設職員組合
委員長 井上雅雄

楽しめる余裕がない時代でも、なにか楽しみを見つけ出せる1年を目指して！



飛島建設労働組合
本部執行委員長 上杉章雄

態度を選ぶ、仕事を楽しむ、相手を楽しませる、相手に向き合う。対話を重視し職場に元気を！



フジタ職員組合
執行委員長 渋谷憲昭

みんなが前を向き、上を向くときのその顔を笑顔にできるように、今年も頑張ります。



松村組職員組合
本部執行委員長 瀬戸秀幸

今年のテーマは、勇往邁進！組合員の待遇改善に向け、精進します。



馬淵建設職員組合
中央執行委員長 山下慎司

一人の百歩より、百人の一步！今年は、みんなで一歩を踏み出しましょう！



丸彦渡辺建設職員組合
執行委員長 田中幸夫

今年の合言葉は『前進力!!』どんな困難も乗り越えて前進していきます!!それが僕らの生きるみちい〜♪



三井住友建設社員組合
執行委員長 山本啓司

苦境にある時こそ笑顔で臨む。いつでも笑顔があれば必ず活路は開ける。



中山組職員労働組合
執行委員長 佐藤聡也

組合員の利益を第一に考え、実りの多い一年となるよう頑張ります!!



西松建設職員組合
中央執行委員長 寛哲志

みなのごえあつめてくみあいかつぱつに(字余り)



日本国土開発コミュニケーション協議会
中央委員長 板垣正二

会の目的に立ち返りコミュニケーションの力で改革を進めます。ともに進む、国土改革！



日本総合住生活労働組合
中央執行委員長 田中健司

厳しい環境下ですが、「全ての活動に真面目に取り組む」ことで、打破していきます！



宮地建設工業労働組合
中央執行委員長 安田義朗

組合員のみなさんがより良い労働環境で働けるよう、精一杯頑張ります。



名工建設職員組合
執行委員長 宇佐見利毅

欲しいものは、安全・健康・利益・休日。よくばりですか？でも頑張ります!!



横河工事労働組合
執行委員長 徳永聡

魅力あふれる労働環境を構築し、(組合員とその家族を含め)みんなの笑顔が見たいなあ…。



りんかい日産建設職員組合
中央執行委員長 浦川英樹

『土曜の休みがきみだけをかえる』をキャッチフレーズに時短推進に邁進します。



日建協では毎年加盟組合企業を訪問し、企業経営者の方に対し日建協活動に対する理解を求めるとともに、産業が抱える様々な問題について意見交換を実施しています。2012年度の会社訪問では日建協が行っている時短推進活動、産業政策活動、建設産業の魅力向上にむけた活動について報告し、たくさんの貴重なご意見を頂きました。今回はその一部をご紹介します。

時短推進活動

長時間労働が常態化している組合員の現状を説明し、時短や統一土曜閉所運動について、労使一体となったより一層の取り組み強化を求めました。



企業経営者からの主な意見

- ・低価格受注のため現場配員が少なくなり、一人あたりの業務量が増加している。休みたくても休めないことが現場の実情となっている。
- ・継続して工期が厳しい現場に配属されている職員には、まとめて休みがとれるように工夫をしている。
- ・統一土曜できない作業所については休めない原因を調べたうえで対策を講じている。
- ・採用の場面で入職希望者が減っていることを実感する。労働時間を減らしていく必要性を強く感じる。
- ・厳しい業務に見合う報酬にしていけないと感じる。
- ・昨年は東日本大震災の影響があり残業が増えてしまった。我々の業界は災害が起きてしまうと待たなしである。
- ・個々の意識改革も必要だ。長時間働くことが会社への貢献では無い。効率的に仕事をして、早く帰ることが建設業の社会的地位の向上につながると思う。



産業政策活動

～土木～

土木作業所で働く組合員の労働環境の改善にむけて、昨年度、国土交通省地方整備局に対して日建協が行った提言と、それに対し頂いた回答について説明しました。

- (提言) **総合評価落札方式**のあり方の見直し、受注者の労働負担を強いる仕組みを改める必要がある。
- (回答) 技術提案で加点評価されなかった項目は協議次第で履行証明が不要となる場合がある。(二地整)
- (提言) **現場条件を加味した4週8休の工期設定**を徹底すべき。
- (回答) 工期に現場条件を加味されていない、完成日ありきの工期設定がされている、との意見は各方面から聞いている。今後現場の確認等を強化し、徹底していきたい。
- (補足) 日建協は、工事一時中止などが正しく運用されているのか疑問に感じています。

※ 土木作業所で働く組合員の労働環境改善にむけた提言活動については、Compass 9月号 Vol.794をご覧ください。

企業経営者からの主な意見

- ◆総合評価落札方式について
 - ・国交省も総合評価方式を変えようと努力している様子であるが、なかなか現実を変えることは難しい。
 - ・加点評価しなかった項目について協議次第で履行証明が必要ないと答えた地整があったことは重要だ。同様の扱いとなるように他の地整とも話をしてみたい。
- ◆現場条件を加味した4週8休の工期設定について
 - ・一時中止ではなく一部中止を行うケースが多い。一般管理費など必要な費用を考慮した上で、場合によって一時中止の適用を増やしてほしい。
- ◆その他
 - ・日建連でも同様の考えを持って取り組みを行っている。労使が協調して国交省に対して問題点を同じくして意見発信することは大事なことだ。
 - ・国交省は率先してリーダーシップを発揮して提言内容の実現に向け努力すべき。



産業政策活動

～建築～

民間建築工事における適正な工期の実現のため、昨年度、各方面に向けて行った提言と、それに対し頂いた回答について説明しました。

更に、適正な工期での受発注を促すために策定した「**日建協標準工期**」を紹介しました。

民間(旧四会) 連合協定工事請負契約約款委員会委員長への提言と回答

(提言) **約款に休日条件を明示すること**を検討願いたい。

(回答) まず受注者内部が適正な工期について共通の理解を持った上で、受注者から声を上げるべき。

国土交通省官庁営繕部への提言と回答

(提言) まず公共建築工事から4週8休の工期設定を徹底すべき。

(回答) 状況をよく理解した。標準仕様書の4週8休記載部について監督職員に徹底するように伝える。

※ 民間建築工事における適正な工期の実現に向けた提言活動の詳細については本号P.10-11をご覧ください。

企業経営者からの主な意見

◆日建協標準工期について

・工期は発注者の事業計画段階の問題。ゼネコンが発注者のキャッシュフローまで踏み込む必要がある。ビジネスの考え方を考えるきっかけになるのではないだろうか。

◆約款に休日条件を明示することについて

- ・受注者内部の適正な工期についての共通理解のために、日建協標準工期がいい役割を果たすと思う。
- ・受注競争が激化しており、短工期でしか受注できないことが多い。業界全体でまとまって自主規制し、行き過ぎた短工期での受注が出来ないようにすべきだ。
- ・法律等で規制するしかない問題と考えていた。約款に休日条件を明示することは非常に良いことだ。
- ・土曜はもちろんだが祝日も休めるように考えることも大事ではないだろうか。

◆その他

- ・土曜に休むことは世間一般で当たり前にならないと実現が難しいのではないか。
- ・難しい問題ではあるものの、工期にゆとりを持った上で、品質が高く発注者に喜んでいただけるようなものづくりをしていきたいという気持ちは大いにある。



☆その他、作業所で働く女性技術者の労働環境について意見を集約し、女性の視点を産業に生かすべく実施している「女性技術者会議」、そして大学生向けに産業への理解を深めるため実施している「日建協出前講座」を、建設産業が魅力的で活力ある産業であるために実施している活動として紹介しました。

会社訪問を終えて

所定外労働時間は日建協目標が45時間でありながら、現実には平均60時間を超え、外勤者は80時間を超える高い値で推移しています。データを直接示した説明により、経営者には労使一体となって時短に取り組むことの必要性を再認識していただきました。

土木提言活動、建築提言活動で掲げた課題は共に今すぐ解決することは難しいものの、組合員の労働環境改善のために取り組むべきであることは概ね認識が一致しました。

今回ある経営者から頂いた「今の建設業界は厳しい状況にあるが、将来にわたって胸を張ってできる仕事、そして産業でなければならない」との発言には共感するものがありました。そして、日建協が産別組織として、一組合では解決できない課題に取り組むことは、組合員だけではなく会社側も必要としていることを感じました。私たちは今回得られた貴重なご意見を参考に、これからの活動をより実りのあるものにするべく取り組んでまいります。

5よっぴといき... 私の趣味

SLでつざんまいしてきました

2012年秋 撮り鉄報告



澁川 明

我が聖地、山口線を訪れる日がついに！ 遙か1,000キロメートル先の山口県へ！

2012年10月5日(金)夕方。今週末は、ただの3連休ではない。翌6日、東京から遠く本州の西、JR西日本の山口線においてSLやまぐち号がC57-1号機とC56-160号機の重連※1で走るのだ。通常はC57の1両のみで走るが、9月下旬の週末より4週間にわたり、この時期限定で重連となる。この4週間のうち、3連休は6日からのみ。熱血SL撮り鉄※2にとって、重連で非電化※3山口線での撮影と条件が揃えば、万難を排してでも行くべき重要イベントである。山口線ではここ数年、重連運転を行っているが、毎年趣向を変えている。復路の機関車連結方法は機関車が編成の最前部と最後部につくプッシュプル (PP) 方式ではなく、重連で往復とも私の好きなC57貴婦人※4が前につくのもとても良い。どこで撮影するか頭の中でイメージが交錯する。毎年このことから、この時期はワクワク・ソワソワ状態である。

ついに長駆12時間の夜行高速バスで出発である。3列シートとはいえ、寝台ではなく椅子である。腰も膝も痛く熟睡できない。まどろみながら6日(土)朝に湯田温泉に到着し、軽自動車のレンタカーで出発した。

1日目の撮影いよいよスタート！

さて、早速場所取り※5のため、往路1回目の撮影地である宮野・仁保間の有名撮影地近くの農道に到着した。廉価な一眼レフデジカメと、銀塩フィルムの愛機、ビデオ、三脚他を持って山の中の撮影ポイントへ移動する。本命のSL通過まで約1時間。露出・ピントを調整して、ひたすら待ち続ける。有名撮影地なのだが、本日私のポジションは珍しく一人だけ。近くの撮影地も4～5名程度。やはり東京一甲府間で天皇陛下が乗車されるお召列車に在京の鉄道ファンが集結しているから少ないのか。しかし、あまり撮影者が少ないと機関士の煙サービス※6が期待できない。

いよいよ重連の咆哮が聞こえてきた。身体がゾクゾクする。カーブの先に先頭のC57の姿が見えた。いつもながら鳥肌が立つ。この快感を得たいがために山口行きが止められない。機関士から私の姿が見えないからか、煙の出具合が今一つ。「参った」と思いながらもビデオを回し、カメラで写真を相次いで撮影した。煙を排出する「ぽっぽっぽっ」というドラフト音と汽笛の音の余韻に浸りながらも、早速次の撮影地に追っかけ※7開始である。



愛機OLYMPUS NEW OM-2

まだまだ終わらない。追っかけは続く...

往路2回目は、長門峡駅発車直後の鉄橋から撮影する。やはり重連なので、この撮影地は凄い人である。鉄橋下で待ち構える。轟音とともに重連が近づくと、シャッターがきれない。しまった...。愛機の巻き上げに失敗した。お蔭で、デジカメのシャッター操作も忘れてしまい、見事写真は全部失敗である。ビデオのみ何とか撮れたが、残念無念、とても立ち直れない。しかし、落ち込んでいる暇はない。ここもすぐに撤収してレンタカーに飛び乗り、今度は徳佐駅の先のカーブへ。時間的に間に合うかどうか微妙である。しかも相当の追っかけ車が走っている。側道を法定速度で走りながら、途中地福駅近くで停車中の列車を追い抜いた。何とか間に合いそうである。

徳佐駅発車5分前くらいに撮影地到着。後ろには数十人の撮影者がいるので、立って撮影できない。座り込んで、座高の高さで三脚を調整する。車から走ってきたので息がきれる。来た！ 轟進する姿を見送りつつ、往路3回目の撮影を終了した。



往路追っかけ3回目の徳佐駅先の撮影地を轟進する重連

折り返しの復路撮影行は続く！

ここでそろそろゆっくりしたいところだが、今度は復路の上り撮影地へすぐに移動して場所取りをしなくてはならない。県境を越え津和野の町に入ったが、観光もせずに町外れの田んぼ脇の本門前撮影地※8へ移動する。まずまずの場所を確保できた。上りSL通過まで2時間近くあるので、レンタカーの中でやと朝買ったコンビニ昼食弁当にありついた。

30分前からは皆、緊張のスタンバイ状態に入る。太陽の光線状態次第で写真のイメージが変わる。皆、黙って露出を調整したりしながらその時を待つ。30～40人位はまわりにいるだろうか。そして津和野駅を定刻発車する汽笛の音が。復路も往路と同じくC57+C56の重連が爆煙で迫ってくる。天候も晴れてバリ順※9。言うことなし。多くの同業者の感動のため息の中、



津和野の先「本門前」を感動のため息のため息のなか通過するC57貴婦人を先頭にした重連

私たちのスターであるSLはすぐ脇を通過していった。このあと復路も往路同様に追っかけスタートである。復路2回目は渡川のカーブ俯瞰撮影で、復路3回目は篠目で豪快な煙を吐く駅発車後の雄姿を撮影した。あまりの感動に放心状態である。

16:30をすぎてまわりが暗くなってきた。4回目の追っかけはせず、経費削減で宮野温泉にある100円の公共浴場に浸かつた。



た。レンタカー返却前に時間があつたので、私には珍しくライトアップされた夜の瑠璃光寺五重塔を散策した。宿泊は撮り鉄の回数をより増やすため、マンガ喫茶泊まりである。この年で良くやるなあと思う。パソコンでSL撮影地の最新情報収集を終え、深夜1時、充実した一日を振り返りながら、興奮状態のまま就寝した。



「本門前」に集結する撮り鉄の群れ

2日目も全力で、そして寂しく帰路に

2日目の7日(日)は、レンタサイクルで登り坂を含む約10キロメートルを激走しての仁保・篠目間にある田代トンネル前での撮影など、まだまだ感動のドラマは続くのだが、とても語り尽くせない。2日間の感動を胸に秘め、後ろ髪を引かれる思いで寂しく帰りの夜行バスに乗った。8日朝に東京駅に無事帰り着き、この最高でかつ過酷な撮影行は終了した。誌面も尽きたので、この辺で私の趣味三昧の話は終わりにしたい。

理解ある家族に感謝。そしてまた旅立つ

ところで、今回も一人旅である。こんな趣味を、いつも家族(妻、子供2人)を置いて良く続けられると思う。これも妻をはじめ家族の理解があるからだ。本当に感謝している。理解を得るため、鉄道好きにもかかわらず、経費削減のため夜行バスに乗り、寝心地は悪くても12時間1,780円くらいのマンガ喫茶に泊まっている。それでもたまには家族に「どこか行く?」とは聞いている。しかし、この私の趣味の世界についてくる家族がいるのだろうか。観光ゼロ。温泉宿泊ゼロ。地元の名物料理を食べることゼロ。撮影地までは夜行バスや青春18きっぷを使って快速や各駅停車のみで10時間近くかけて移動するのだから普通の人にはできない。あのドラフト音を間近にして撮影する喜びを思えば苦とも思わない私は普通ではないのか。恐らく、私たち加盟組合の中にも同じ趣味の人がいると思う。仲間と語り合いたい(…無理かな)。

来年は盛岡にC58-239が復活する。まだまだ頑張るぞ... (もちろん日建協活動も頑張ります)。

— 完 —

- ※1 重連：機関車が編成最前部に2両連結すること。
- ※2 撮り鉄：主に走行中の列車を写真撮影する鉄道ファン。
- ※3 非電化：電化されていないので架線がなく、撮影しても美しい。
- ※4 C57貴婦人：SLの中でもC57はボイラーのラインが美しい車体で、多くのファンからそう呼ばれている。
- ※5 場所取り：人気のあるSL撮影をするには、早めに撮影地で、同業者や不要なものが写真に入らないよう良い場所を確保するため三脚を置いておくことが優先権が得られる。
- ※6 煙サービス：上り勾配ではSLは良く煙を吐くが、気温が高いと煙は透明で写真に映らない。黒色だと燃焼効率的には良くないが、撮り鉄の姿を機関士が見つけると、黒煙のサービスがある。
- ※7 追っかけ：同じ列車を車などで追い抜きながら一日に何度も撮影する事。
- ※8 本門前撮影地：撮影地脇の踏切名が本門前なので名付けられた。撮り鉄の間では「本門」で通じる。
- ※9 バリ順：被写体に影の部分がなく、すべて順光で光線状態がとても良いこと。バリバリに順光の略。

建築（民間）工事の『適正な工期で受発注できるルールづくり』にむけた提言活動

日建協では、建築作業所の組合員のみなさんの労働環境の改善をめざし、提言活動をおこなっています。今回は、建築（民間）工事の適正な工期で受発注できるルールづくりにむけた提言活動についてご紹介します。

民間建築工事では工期のルールがない？

建築外勤者では月平均80時間を超える所定外労働が常態化しており、組合員のみなさんからも厳しい工程のもと、休日を取得することが非常にむずかしい、と言った声が寄せられています。こうした民間建築工事の過度な短工期による厳しい労働環境は、**工期についてのルールがない**ことが大きな要因になっていると考えます。

適正な工期で受発注できるルールづくりにむけて

建設業法では、**着工日・竣工日・引渡日**を契約書に記載することが定められていますが、休日などの条件を定めるというルールはありません。また、国土交通省が策定した「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン」では、適正な工期設定を必要とする、とされていますが、具体的な基準については示されていません。つまり、過度な短工期をセールスポイントにすることや発注者・ユーザーの無理な要望に応える短い工期で受発注することができてしまいます。そこで日建協では、**適正な工期で受発注できるルールが必要**と考え、請負契約に着目して以下の提言をおこないました。



民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会にむけて

民間契約約款委員会とは：請負契約約款の社会的認識の向上に努め、公正妥当な工事請負契約の履行に寄与することを目的とした委員会。
日本建築学会・日本建築協会・日本建築家協会・全国建設業協会・日本建設業連合会・日本建築士会連合会・日本建築士事務所協会連合会の7団体で構成されています。

提言：民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款に休日条件を明示することについて、ご検討いただきたい。

回答 民間契約約款委員会 委員長

約款に盛り込むための**適正な工期について受注者内で共通の認識**はあるのだろうか。問題の解決には、受注者側で工期について共通の認識を持ち、もっと**受注者側から声をあげるべき**だろう。



経営者をはじめ営業や施工、積算、設計など、立場によっては受注のために過度な短工期を設定せざるを得ない状況にあります。受注者内でも過度に短い工期がもたらす様々な問題点については十分に理解されていると考えますが、**適正な工期について、あらためて受注者内で共通認識の醸成を図っていくことが必要**と考えます。

回答 民間契約約款委員会 各構成団体

- (業界団体)
- ・ 過当競争に陥らないためにも工期に対しては、自主的、法的な規制は必要だ。
 - ・ 発注者が事業計画など完成日を中心に考えるのでは、受注者側が考える適正な工期を実現することはむずかしい。
 - ・ 次世代の担い手を確保することは急務と考えている。建設産業の労働環境改善は将来にむけ、早急に取り組むべき課題だ。
 - ・ 建設工事紛争審査会では、工期についてあっせんや調停は行われておらず、問題が表面化してこないのが現状だ。
- (資格者団体)
- ・ 会員数の減少、若年層の減少は、受発注者や設計者に係わらず、建設産業全体にとってマイナスでしかない。
- (設計者団体)
- ・ 建設産業の魅力向上にむけては休日が必要だ。
 - ・ 工事を監理する業務であり、様々な工法が開発されるため、設計者が適正な工期を判断することはむずかしい。
- (各団体)
- ・ 休日条件は、契約約款ではなく、契約の特約事項として定めることだ。



各構成団体ともに契約約款の改訂に対しては、肯定的なご意見はいただけませんでした。しかし、その一方で業界団体、資格者団体、設計者団体など異なる立場において共通するのは、**産業の将来を危惧するご意見**でした。日建協では、建設産業全体が抱える構造的な問題の解消にむけて産業全体で取り組んでいく必要があると考えます。

国土交通省 大臣官房官庁営繕部にむけて

大臣官房官庁営繕部とは：官庁施設の工事を発注するなど保全や指導を行い、施設の質の確保のため、公共建築工事標準仕様書など技術基準類の作成や勧告を行う部署。

提言

日建協のアンケート結果では、公共建築工事においても約80%の作業所が4週4閉所となっている。まずは、公共建築工事から「4週8休」の工期設定を徹底していただきたい。

回答

日建協のアンケート結果から**公共建築工事の工期設定が4週8休であることが浸透していないことが分かった**。標準仕様書の一般共通事項に休日の記載があるので監督職員に再度、周知徹底するように伝えたい。



民間建築工事の適正な工期での受発注にむけて、手本となる公共建築工事の4週8休の実現は不可欠です。今後も公共建築工事での4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定が徹底されるように継続して提言していきます。

国土交通省 土地・建設産業局建設業課にむけて

土地・建設産業局建設業課とは：建設業の許可・建設業者の指導・監督・施工管理技術検定・経営事項審査・入札、契約制度に関すること等、建設業に係わる事務を行う部署。

提言

「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン」では適正な工期設定を必要とする、とされている。受発注者双方を一堂に会して勉強会を開催していただきたい。

回答

受発注者間で合意した工期が合理的な工期と考えられ、**行政側から民間工事の工期設定の考え方を示すことは難しい**。民間発注者や日建連などの業界団体が示すことが望ましいと考える。

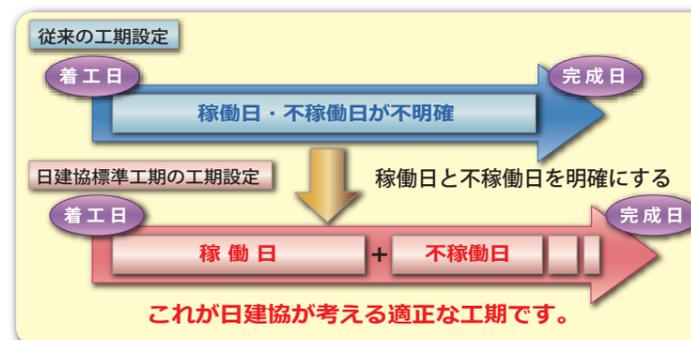


受発注者間のガイドラインでは、「適正な工期設定を必要とする」とされており、民間建築工事の発注者に対してもガイドラインの活用によって適正な工期設定の働きかけができるものとして期待されます。今後も国土交通省へガイドラインの周知や適切な運用を働きかけていきます。また、業界団体などへも適正な工期について考えていただくよう働きかけていきます。

日建協が考える標準工期とは

日建協では、これまでの提言活動をつうじて得られた意見や建築アドバイザー会議での討議から、建設産業全体で「適正な工期」について考える際に指標を示すことが必要と考え、「日建協標準工期」を策定しました。適正な工期を考えるにあたっては、**作業できる「稼働日」、作業できない「不稼働日」※1を明確にして工期を設定する**公共建築工事の考え方をもとにしています。(下図参照)

「日建協標準工期」では、さらに建築作業所アンケートのデータを活用して「稼働日」を推計し、「不稼働日」をカレンダーなどから計算して全体の工期としています。工事を受発注する前に、つまり、**民間建築工事の発注者が事業の計画や立案をする時点で**、工期について考えていただけるように、これからの提言活動や意見交換の中で「日建協標準工期」の活用を図っていきます。



※1「不稼働日」とは、土曜日・日曜日・祝祭日・GW・夏期休暇・年末年始休暇などと「**降雨や降雪などの天候によって作業できない日(作業不能日)**」を合わせたものです。

■日建協ホームページでは、「日建協標準工期リーフレット」を公開しています!ぜひ、ご覧ください!!
⇒<http://nikkenkyo.jp/download/teigen/2012.09/hyojun-kouki.pdf>

おわりに

過度な短工期によって長時間労働が増加し、わたしたち組合員の労働環境が悪化することは、産業の魅力低下や産業の衰退につながると考えます。適正な工期で受発注できるルールは、わたしたち組合員の労働環境の改善だけでなく、今後の建設産業の健全な発展を促すものと考えます。日建協では、適正な工期で受発注できるルールづくりをつうじて、民間建築工事における4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定の実現にむけて活動していきます。

BWIアジア・太平洋地域セミナー 会議 2012 INデリー

日建協が加盟するBWI※1のAPセミナー※2(以下、APセミナー。場所:インド・デリー)の開催にともない、日建協から山田議長と澁川事務局長が、BWI-JAC※3加盟メンバーの一員として参加しました。その活動の一端を報告します。

APセミナーとは

- ※1 BWI : 国際建設林業労働組合連盟(英語名Building and Wood Workers Internationalの略)。建設、森林、製材関連産業で組織する国際産業別組織。130か国、328組織、約1,200万人の規模。
- ※2 APセミナー : アジア・太平洋地域セミナー会議の略。アジア・太平洋地域では18か国、72組織、100万人が加盟。
- ※3 BWI-JAC : BWIの日本加盟組合協議会の略: 林野労組、建設連合、日建協、UAゼンセンの4組織で構成。

APセミナーは、BWIに加盟するアジア・太平洋各地域からの活動報告と、加盟組織間の連帯意識を高める目的で開催されています。

今回のセミナーには開催国であるインドをはじめ、パキスタン、香港、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ネパールの計9つの地域代表組織が集まりました。セミナーでは、地域毎の活動や課題の報告と、参加者同士の意見交換を行いました。セミナーのまとめでは、BWIアジア圏で課題となっている非正規就労及び公共インフラプロジェクト、国際金融公社、多国籍企業に従事する労働者の労働条件の向上をめざすうえで、組合未加入の労働者の組織化を最優先に取り組むことが確認されました。

各国代表の発表

- ※4 ワールドカフェ方式: リラックスした雰囲気の中、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、ときどき他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続けながら、参加する全員の意見や知識を集めることのできる会議方式の一つ。この方式での会議では、参加者全員が発言しやすい環境となり、意見が集まりやすいため、共感が生まれるなどのメリットがある。

日建協は、BWI-JACのメンバーとしてAPセミナーに参加しています。今回のセミナーでは、日建協が行っている労働環境の改善にむけた取り組みを伝えると同時に、海外の労働事情などの情報を収集しています。

各国の代表者から建設や林業部門における様々な活動の発表がワールドカフェ方式※4で行われましたので、同席した各国代表の主な発表内容の概要について報告します。

インド
 鉄道インフラ関係など、今後も大型プロジェクトが続くことから、安全衛生意識の高揚や施工技術者の育成のためにも、組合未加入の労働者の組織化が必要だ。そのためにもBWIと連携しながら、建設労働者の労働条件と地位の向上を図りたい。

パキスタン
 多国籍企業が進める国家プロジェクトにおいて、現地採用の組織化されている労働者の一部が解雇された。賃金の未払いもある。このような状況を変えるためにも、BWIと連携しながら多国籍企業への働きかけを行い、団体交渉が行える環境をつくり、労働環境の改善を図りたい。

韓国
 建設産業で働く技能労働者の長時間労働の問題や、不安定な雇用環境の改善を求めるストライキ運動への迫害が続いている。経営者との交渉から建設労働者が抱える問題の解消を進めたいが、困難な状況にある。この状況を変えるためにも労働者の組織化は必要だ。

マレーシア
 民間企業を中心に乱開発を進めた結果、広大な熱帯雨林も今や再植林が必要な状況にある。森林事業は地元地域の雇用と経済に密接な関係にあり、持続可能な森林の利用と保護を図ろうとする森林認証制度が必要である。

会議の様子



会議開会前の会場の雰囲気



全体会議の様子



ワールドカフェ方式での会議の様子

議長発表と質疑応答

「日本の建設産業で働く組合員の雇用不安について」
 日建協議長 山田 栄治



発表中の山田議長

日本国内における建設投資額は減少傾向にあり、建設産業の市場規模も年々縮小している。2010年の建設投資額は、ピーク時(1992年)の49%まで減少している。こうした状況を背景に、一部建設会社では、企業経営の悪化から雇用調整や賃金改定を実施し、私たち労働組合にとって雇用不安など労働条件の悪化は大きな課題となっている。景気動向に左右されやすい建設産業とはいえ、そこで働く組合員が雇用不安などを抱えたままでは、仕事に集中し安定した生活を送ることは難しい。私たちの仕事は広く国民の生命、財産を守る社会的使命を担っている以上、どんなに厳しい労働環境にあっても、次世代を担う人材を確保し、技能と技術を後世に伝承していかねばならない。日建協では、労働条件の向上にむけた取り組みを活動方針に掲げ、産業内外にむけた提言活動や働きやすい環境の醸成を図りながら、建設産業で働く魅力の向上と産業の成長と発展に貢献している。

◆発表後、インドの代表者からは「労働問題を解決する方法として日本ではどのように対応しているのか」という質問に対し、「日本では、個々の労働者と事業主との間に生じた紛争であれば、裁判に抛らず労働審判制度を活用し迅速な調停を行う制度がある」と回答し、現在アジア各国が抱える労働問題の情報を共有することで、支援できることもある旨を述べた。



インド政府代表者による基調講演



BWI書記長からの挨拶



参加したBWI-JACのメンバー

APセミナーへの参加を終えて

今回の会議で、アジア・太平洋地区における建設事情を知ることができたことは、日本の産業別組合として意義深いものとなりました。数十年前に日本が参加各国と同様に厳しい労働環境を経験したこと、現在も経済情勢の煽りを受け、組合員が雇用不安を抱えている現状を伝えました。アジア・太平洋地域の先進国として、参加各国の方々に、日本が経験した多くのノウハウが提供できることを知って頂くことができました。

年々縮小する国内建設市場に対し、アジアをはじめとする海外市場に新たな経営基盤を求める動きから、日本国内と異なる労働環境で働く組合員が増えることも予想されます。

日建協としてはBWIとの交流をつうじて海外の労働事情などの情報を収集し、組合員の皆さんに対し有益な情報を提供していきたいと思っています。

近年成長著しい インド

今回訪問したインドは、BRICSの唯一の国で、経済成長著しい国です。人口は約12.4億人であり、世界の人口の18%を占めます。今回訪問した首都デリーは人口2,163万人でインド最大の都市です。空港周辺は建設ラッシュで多くの建設現場があり、インドの発展ぶりを感じました。現在、インドで仕事をしている加盟組合企業もありますが、訪問できなかったことは心残りです。



インディラガンジー空港近くの建設現場



駅の様子



本場のカレーはスパイスが強烈でした

オフィスでできるトレーニング 1



普段運動していますか? 「忙しくて時間が取れない」という人、それは自分に対する言い訳かもしれませんよ。なぜなら運動は仕事中のちょっとした隙間時間でもできるからです。工夫一つで、オフィスは立派なスポーツジム! 今日から少しずつでも運動を始めてみましょう!
このコーナーでは仕事上の何気ない動作のついでに鍛えられる運動を紹介していきたいです。

運動のメリット

①太りにくい体になれる!

筋肉をつけることで何もしてなくても消費されるエネルギー、つまり基礎代謝が上がります。つまり基礎代謝が上がります。

②姿勢の矯正、腰痛や肩こりの予防に!

背骨を前後から支える筋肉や肩甲骨周辺の筋肉を強化することが姿勢の矯正につながり、そして不良姿勢を直すことで、腰痛や肩こりの予防や改善に役立ちます。



③健康で長生きできる強い体が入る!

運動をして脂肪、特に内臓脂肪が減ると、心筋梗塞や脳梗塞になるリスクが減少します。また運動は筋肉の糖代謝機能を向上させて血糖値を下げる働きを強くし、糖尿病予防にもつながります。

④カッコいいスタイルが入る!

メリハリのある恰好のいい体を手に入れるには体重を減らすだけではなく、筋肉づくりを行うことが不可欠です。

実践しよう! 下半身編

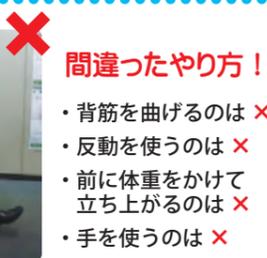
大きな筋肉を動かすとダイエットや運動不足解消などには効果的です。今回は体の中で最も大きな筋肉の一つである「ふともも」に刺激を与えます。

立ち上がるついでに・・・エクササイズ

立つときに片足で立つようにします。もちろん座るときも片足で。出来るだけゆっくりと行うと効果的です。



太ももの表と裏、お尻に効く!



- 間違ったやり方!**
- 背筋を曲げるのは ×
 - 反動を使うのは ×
 - 前に体重をかけて立ち上がるのは ×
 - 手を使うのは ×

慣れてきたら・・・スクワット

両手を胸の高さで組み、肩幅に両足を開く。



1、2をゆっくりと繰り返す

お尻を後ろに突き出すようなイメージで、太ももが床と平行になるところまで膝を折り曲げる。そして、再び膝を伸ばして1の姿勢に戻る。

腰痛やひざ痛予防のためには注意事項を守ろう

- 膝を足の指先より前に出さない。
- かがんだ時に膝を内側に入れない。
- 上体を丸めない。
- ゆっくりと動く。

皆さん、やってみましょう! 次回は「上半身」を使った運動です。お楽しみに!

楽

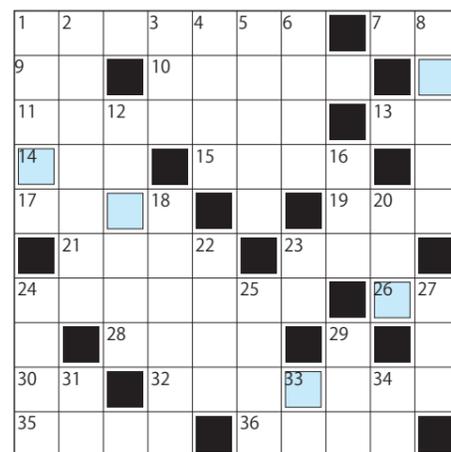
楽

クロスワードタイム

明けましておめでとうございます。本年もクロスワードをお楽しみください。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:2月13日(水) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント:最近つくりましたか?



ヨコのカギ

- お正月料理の定番と言え?
- 梅・竹の上に来る、針状の葉を持つ常緑高木の総称。
- 屋根の雨水を受けて、地上に流す仕掛け。
- 数学で、二つの量の相関関係を表す図。
- 物を見る能力を調べることです。
- 方角で、南の真逆に位置します。
- これまでの習慣や勢い。
- こまの古名です。
- いつも、毎回、その度ごと。
- 朝おそくまで寝ていること。また、そのさまや、その癖のある人。
- その土地に特有の風習。また、その住民に特有の気風。
- アイルランド出身の清澄な歌声を持つ女性ミュージシャン。2008年紅白歌合戦に特別出演しました。
- 日差しを防いだり、外から室内が見られないように、窓に黒いフィルムを張った車。
- 陸地の、海・川・湖などの水に接している所。
- 電気の接続を行う部品のプラグ。また、コンセントの称。
- 雨・雪・日光などがじかに当たらないように、広げて頭上に指し加さずもの。
- 若々しさを維持する物質「コエンザイムQ10」の略称。
- 着物や衣服のこと。「馬子にも○○」。
- 洋風の居間のこと。

タテのカギ

- お正月にもろう、うれしいもの。
- 乱れた状態にある物を整えてきちんとすること。
- 金銭などの使用の対価として、金額と期間とに比例して一定の割合(利率)で支払われる金銭その他の代替物。
- 物事の最も大切なところ。奥義。秘訣。
- 漢字の冠の一つ。「宙」「家」などの「宀」の称。
- 同じ土地にいろいろな作物を一定の順序で創ること。
- お笑いタレントとして近藤真彦のものまねが有名。現在は俳優や画家として活躍。「片岡○○」。
- 俗に月見草ともいわれる、河原などに自生する多年草。
- ある物事についての、こうあるべきだという根本の考え。
- 元「JUDY AND MARY」のドラマーで「散歩道」「あたしを見つけて」等々を作曲。日本を代表するドラマーのひとり。「○○○○太」。
- 不平やごことのこと。
- フランス南西部のドルドーニュ地方、ベゼール渓谷にある、動物の壁画が有名な遺跡。「○○○○洞窟」。
- 英語のアルファベットの最初の字。
- 長く別れ別れになっていた人どうしが、再びめぐりあうこと。
- 客が注文した物の形を即席で切り抜く寄席演芸。
- ゆるむこと。たるむこと。
- 劇・映画・小説などの場面。
- 牛肉で赤身の肉の間に白い脂肪が網の目のように入っている状態。
- 手足の末端の5本に枝分かれした部分。
- ソウル、プサンに続く韓国第3の都市。リンゴの産地としても知られています。

Vol.795クロスワード 正解と当選



答えは「コハルビヨリ(小春日和)」でした。

多数のご応募ありがとうございました。次の方が当選されましたのでクオカードをお送りいたします。またのご応募をお待ちしています。

- 石川学(アサヌマ)、石橋崇司(奥村)、大原紀子、寺井祥彦、数本昌之(鴻池) 小出啓剛、佐久間純子(佐藤)、中川 薫(鈴与三和)、松村佳奈(銭高) 澤田昌彦(大日本)、島田 武(鉄建)、有馬広明(東鉄)、角田初美、森田研志(東洋) 高田敏光、西脇明彦、八木田真理(戸田)、鈴木秀幸(飛鳥) 伊藤博美、新妻大理、花山和信、村上忠輔(西松)、山野正晴(JS) 黍野聡美(ハザマ)、峯 純子(ピーエス三菱)、奥田可佳子(ペンタ) 安井敏夫(松村)、榎 恭子(三井住友)、井上 武、竹内聖治(横河) <敬称略>

前号の訂正とお詫び

前号 (Vol.795) 11 ページの課税所得控除額の表記に一部誤りがありました。正しくは右のとおりです。訂正してお詫びいたします。(赤字が訂正箇所です)

課税される金額	税率	控除額
330万円を超え695万円以下	20%	427,500

◆計算式 3,315,125×20%＝427,500＝235,525≒235,500(個人所得税額)

お詫び

私の生まれ故郷の福島県に「会津地方」と呼ばれる地域があります。白虎隊の名で知られる「会津地方」は、「会津っば」と言う言葉に象徴される頑固さ、真面目な気質で知られています。その会津地方には、江戸時代、会津武士の子供を教育するために「什(じゅう)」という組織がありました。そこでは、「什の掟」というものを作り、子供たちを教育していたそうです。「什の掟」を紹介すると、一、年長者の言うことには背いてはなりません。一、年長者にはお辞儀をしなければなりません。一、虚言(うそ)を言うことはなりません。一、卑怯な振る舞いをしてはなりません。一、弱いものをいじめてはなりません。一、戸外でものを食べてはなりません。一、戸外で婦人と言葉

を交えてはなりません。最後に「ならぬことはならぬものです。」で結んでいます。平易な言葉の中にも、現在の大人や子供にも通じる人間としての美徳に満ち溢れた言葉だと私は思っています。特に心に残るのは、最後の「ならぬことはならぬものです。」という言葉です。理論を超越し、人間の情緒や感性に訴え「だめなものだめだ」と言い切るところに会津人の頑固気質と強さを感じます。今の世の中でも理論的には説明がつかないことでも、「ならぬことはならぬものです。」の精神で解決することも少なくないのではないのでしょうか。1年の始まりにあたり、家族には不評ですが今年も「什の掟」を家の壁に貼り付けました。(海馬)

編集後記

明けましておめでとうございます。いよいよ2013年がスタートしました。

本号では、新年にふさわしく加盟組合委員長に新年に向けた意気込みを語っていただきました。委員長の皆さまの明るく前向きなコメントをみて日建協本部の私たちが「今年もやるぞ!」という想いを抱きました。

昨年度実施したアンケートで、皆さんの中で建設産業に魅力を感じる人の割合がここ10年で最も高い割合となりました。厳しい状況が続く建設産業ではありますが、明るい材料ではないかと思えます。このアンケートで、建設産業に魅力を感じる方は「東日本大震災により社会資本の重要性を認識し、携わっている建設業の魅力に気付いた」などの理由をあげています。私も建設産業のもつ魅力を改めて見つめ直し、「私たちの産業がこの国の土台を支えているんだ」というプライドを持って、今年一年皆さんとともに頑張っていきたいと思えます。

これからもCompassは皆さんの意見を反映しながらお届けしていきたいと思えます。引き続き宜しくお願い致します。

野村労働組合

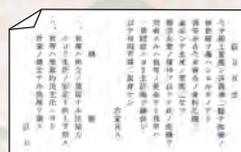
野村建設工業は、1945(昭和20)年8月31日に野村財閥の不動産を引き継ぎ不動産賃貸業と建設業を兼営する企業として創業しました。その後、1989(平成元)年8月18日に業務拡大、発展させるため不動産部門と建設部門に分社独立し、建設業専業会社として生まれ変わり、今日に至っています。

野村労働組合は、不動産部門の野村殖産株式会社と建設部門の野村建設工業株式会社の2つのグループ会社の組合員から構成されています。組合事務所は、大阪市中央区高麗橋にあり、戦前より続くモダンな社屋に構えております。

- 設 立：昭和21年7月15日
- 組合員数：101名
(2012年10月19日現在)
- 支部数：2支部
- 本部執行委員数：11名
- 中央執行委員会：年20回



手前側左から、糸井副執行委員長、坂田執行委員長、森下副執行委員長
奥側左から、西口執行委員、福本書記長、上嶋執行委員、萩田執行委員



組合設立の宣言文



モダンな本社社屋です。

「共存」と「共栄」が組合のテーマ

過去、組合というのは会社と闘うためにあったと思いますが、最近では経済情勢が非常に厳しいのでそういうことも言ってもらえません。当組合は、会社と「共存」と「共栄」をテーマに活動を行っています。会社が成り立っていかねばなりませんし、組合も労働環境を良くしていかねばいけません。そのためには、会社の意見を組合員に包み隠さず伝える事が必要であり、そのパイプ役として組合活動を進めていきたいと考えています。伝え方ひとつで意味も変わってきますので、会社の考えや思いを真っ直ぐに組合員に伝えたいと思っています。また、当組合には野村グループ内の建設会社で働く組合員と不動産会社で働く組合員がいます。組合活動をとおして、お互いの顔を知ることができ、仕事もやり易くなると言った声もたくさんあります。



坂田執行委員長

生活が充実しなくてはいけない時期ですが、逆に仕事も忙しい時期でもあります。そういう意味で仕事と生活の調和というのは非常に難しい課題となります。仕事と生活の時間をそれぞれどう確保していくかが一番重要になります。「働いている時間をいかに短縮していくか」が、組合活動としてもやっていかなければならないと考えています。当組合では、時短についての特別委員会をつくっています。委員の皆さんは現場勤務で、集まる事も容易ではありませんが、これからも継続して議論し、時短を進めていきたいと思っています。

野村労組ならではの取り組み

組合員のヨコのつながりを大事にしています。以前は運動会などを実施していました。現在は、みんなで集まってできるイベントを企画しています。なかなか皆さん忙しいのですが、イベント内容やスケジュールを決めることによって、そのイベントにむかって頑張れるようにしたいと思っています。土日を実施しようとすると出席率が下がるので、平日の夜の開催も検討します。

ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて

20代から40代は、結婚して子供ができる時期であり、一番

産業の魅力をあげるために

会社では大学生や高校生を対象に、現場でインターンシップを実施しています。私の現場にも大学生が2週間程勉強に来ました。



福本書記長

大学生は建築に対して「建築=設計」といった意識がはじめは強かったようですが、この2週間のインターンシップにより「現場っておもしろい。」「仮囲いの中で建物が少しずつ出来ていくプロセスに感動しました。」と、現場の魅力を体感して頂きました。建設産業の魅力を伝えるためには、会社も組合も、もっとこのような活動を推し進めていけばよいと思います。

レトロでモダンな社屋や、組合設立当初の宣言文を見せて頂き、野村労組の歴史の重みをひしひしと感じる訪問となりました。インタビューの最後には、「統一土曜閉所が建設産業全体に広がり、組合員が休みやすい環境が出来ること期待します。」と、日建協活動にエールを頂きました。野村労組のみなさんの活動が実り多きものとなるよう日建協も応援していきます。